

路線バス乗務員を目指す方を応援します



乗務員のなり手不足やバスの運転免許を持つ方の高齢化などで、乗務員が不足しています。市では、乗務員を目指す方を支援しています。

【詳細】都市計画課 電話25・9851



? 路線バス乗務員が不足するとどうなるの？

乗務員が不足すると、バスの運行を維持することが難しくなり、減便や廃止につながる可能性があります。減便や廃止は、バスで通勤・通学する方や、運転免許証を返納して利用している方などに大きな影響を与えます。

? 路線バス乗務員になるには？どんな仕事なの？

バスを運転するには、大型二種免許が必要です。市内の路線バス会社では、運転免許の取得に掛かる費用を助成するなど、乗務員を目指す方を支援しています。今回は、乗務員として働くお二人に、乗務員になったきっかけや、やりがいなどを聞きました。



よしだ ゆきひろ
吉田行宏さん
旭川電気軌道 乗務員歴6か月

転職を考えていたときに、もともと運転が好きだったこともあり、乗務員募集のポスターを見てすぐに応募しました。1人で乗務できるようになるまでは、先輩が運転するバスに同乗して、運行ルートや精算機の操作などを勉強します。路線を覚えるため、勤務終了後に、自分の車でバス停を回ったこともありました。これからも、お客様に「また乗りたい」と思ってもらえるよう、丁寧な挨拶や安全運転を心掛けたいと思います。



ゆあさ こうじ
湯浅貢司さん
道北バス 乗務員歴20年

子供の頃からバスが好きで、生まれ育った旭川で乗務員になるのが夢でした。毎日見る風景が、バスに乗って見ると全く違う風景のように感じるんです。そこがバスの魅力だと思います。乗務中は、お客様が安全で快適に過ごせるよう、常に車内外の状況に気を配りながら運転しています。停車中、外から手を振る子供たちを見たり、お客様から「いつも安全運転でありがとう」と声を掛けられたときは、とてもやりがいを感じます。



旭川に転入し、路線バス乗務員として働く方を応援！

市では、旭川に転入し、乗務員として働く方に助成金を支給しています。

対象 今年4/1以降、近隣8町（鷹栖・東神楽・当麻・比布・愛別・上川・東川・美瑛）を除く市区町村から転入し、市内を営業区域として運行している路線バス会社に就職した方

助成額 道外からの転入者＝30万円、近隣8町を除く道内からの転入者＝10万円

※詳細は市HPをご覧ください。都市計画課に問い合わせを。

